（1）　昭和42年10月1日　（毎月1回 1日発行）　修学旅行新聞　（昭和41年6月17日 第三種郵便物認可）（定価1カ年300円・送料共）　第79号

修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白岡末紀
東京都千代田区西神田
2丁目8－7（輻ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

万国博と修学旅行

関心度は高い

入場料、百円以内で

全修協調査

剣木文相の発言や関西に続く東京財界の強力支援の決定などによって修旅と万国博見学は最近活発化してきた。全修協でも既に昨年春から事務局内に対策委を設け検討をはじめているが、今夏、全国小中高校の〝関心度〟を調査したところ〝見学は必要〟が圧倒的だった。全修協では今後も調査を続ける一方、十一月から開かれるブロック会議を通じて万国博の趣旨徹底をはかる予定である。

調査は全修協各支部長や各都道府県教委を通じて無作為により五百校に対し①見学の必要度②修旅と校外見学との関係③見学の時期④入場料⑤その他について、の回答を求めた。夏期休暇中のため回答率は二五・四％にとどまったが一応の傾向はつかみ得た。①については〝必要〟としたものが小中高とも圧倒的で、教職員PTAの見学を含めて六四％を占めた。②では〝修旅などの際、見学する〟が小学校二九％、中学校高校それぞれ三〇％だった。これらの大部分は近畿地区で、四国の香川、徳島、中国の岡山や鳥取の一部が含まれている。〝見学しない〟は関東（埼玉）中国（鳥取）北陸（富山）九州（長崎）などで近畿（滋賀、大阪）などは〝個人で見学するため〟としている。

③の時期は小中高とも三月中旬―六月中が三三％、夏休み中が二五％を占めているのが注目される万国博開催期までの秋型は一一％だった。④の入場料は五十一円―百円が七十三校で第一位、続いて二百円までが五十九校、三百円までが三十四校で、五十円以内が三十三校もあった。

この調査では未回答あるいは未記入も多かったが、これは⑤のその他の項目にみられる万国博の内容や輸送、宿舎などが明確でないため計画を樹てる段階でないとしているためとみられる。

修旅委で対策

都の公立中学校

東京都公立中学校修旅委員会（岡崎忠七委員長）でも万国博見学の対策をたてるため九月十九日委員会を開いた。委員会としては修旅の際、ぜひ万国博を加えるよう希望するが、実施については校長の判断に一任する方針をきめた。また開催年は輸送、宿舎の混雑が予想され、早急に具体策をたてる必要があるので近畿日本ツーリストと交通公社に対して至急計画をまとめるよう依頼した。この二社は都内公立中学校五百三校の約九〇％の修旅を担当している。

万国博説明会開く

小学校用絵新聞も計画

財団法人日本万国博協会では昭和四十五年大阪府吹田市で開かれる日本万国博についての説明会を九月二十七日午後、東京・千代田区の科学技術館で開いた。都内の各学校修旅担当教諭や修旅関係機関が参集した。鈴木事務総長のあいさつ、天野業務部長から経過、玉井建設部次長の輸送対策、小松広報部長のPR活動状況などについてそれぞれ説明があった。今後のPRとしては小学校高学年対象とする絵新聞配布などの考えを明らかにした。続いてモントリオール万国博の映画も上映した。

修学旅行のみかた

生活にとける〝書院〟

⑤北原富男

ごく最近の住宅建築は、生活への合理性と団らんとに重点がおかれるため、和洋折衷の形態が多くとられるようになっている。しかし、私たちの年齢が家を建てようとすれば、どうしても小さいながら床のある日本座敷をその一部に夢みるだろうし、また、日本の民家にはどこへ行っても床の間のある座敷があるのであって、人びとはこれを当然のこととしている。座敷と日本人の生活とは全く密着し切り離せないものになっているのであるが、この日常生活の一部を形成する座敷こそ、実は〝書院造り〟という室町時代末期にはじまった特殊な建築形式なのであり、それは、京都東山あたりにその初期の形を現わし、西本願寺大書院（秀吉の伏見城遺構）や二条城に最盛期の姿を残し、そして、旅人の憩う旅館や料亭のお座敷に現代の息吹きをたたえているものである。

京都の旅行で、人びとは以外なほど書院の建築に無頓着であり、修学旅行もまたその例外ではないので、この号と次号とにわたり、書院のみ方について簡単に述べてみよう。

書院造りは、はじめ鎌倉末期の頃、禅僧などの住宅様式の一つとして起ったものであるが、公家・武家・僧の生活がだんだん接近するにつれ、室町末期から、これらに共通する住宅形式となって急速に発達し、桃山時代にいたり大名の居城にとり入れられて完成し、江戸時代には上・中流武家の邸宅、富有な町人や豪農の家宅にまで普及し、ついに現代の民衆住宅の形式を導くにいたったものである。

書院造りは、単に書院ともよばれるが、もとは僧侶の読書の目的で造られたもので、とくに、華やかな形式を嫌い、静かに思索する禅僧の生活にもっとも適したものとして発達した住居形式である。禅は、あくまでも形として表面に現われるものをみないで、背面にまで存在する真理をみつめようとする態度にあり、したがって、いわゆる形式や理論を極度に排する。この禅の思想は、はじめ武家社会に急速に浸透していったが、やがて多くの階層に迎えられ、ついに室町動乱期のなかで将軍足利義政を中心とする東山時代という、日本文化史上特筆すべき文化を形づくる要因となるものである。いま東山の麓にある慈照寺に、銀閣や東求堂としてその形を残しているこの文化は大へん興味深いものがあり、われわれ日本人の生活のなかに喰い入っているもろもろの生活芸術は、東山文化に起因するところが多いのであって、書院もまたその一つである。

東山文化を代表するものの一つが書院造りであり、東山文化は禅を抜いて理解することが困難である限り禅について簡単にふれる必要があろう。

禅の特色を簡単にいえば、直指人心、不立文字であるという。従来の、形態や儀式を極度に重んじた仏教の読経・祈祷などを全く重視せず、清掃とか食事など身近かな生活の労作の中で虚心になるべき座禅を重んじわずらわしい形式的な過程を一切省いて、各人の心の中にある仏性を自らの力で悟ろうとするのである。禅問答というのは、対座する相手と互いの仏性のひらめき合いを求めることでありそれは文字の上で伝えたり理解するものではなく、心を鍛錬することによってのみ感知されるものであり、間接的な説明や儀礼を不必要とする性質のものである。これが直指人心であり不立文字なのである。

このような禅の心は必然的に虚飾を嫌い、複雑な表現を排し極力夾雑物を除き、核心にふれる表現を求めるようになる。

（つづく）＝大阪府立成城工業高校教諭＝

論点

これからの修学旅行

浅沼　操

最近いろいろの理由から修学旅行の新しい方向の探究がなされ、一部にはすでに実施しているものがでてきた。

いままでの修学旅行が多くの問題を含んでいたので、この方向には賛成する。ただこれらの意見のなかには用心しなければならないものを含んでいると思うので私見をのべてご参考に供したい。

古くさい観光旅行はやめるべきであるとするものがあるが、観光旅行そのものには十分な意味があるのである。他の地方の美しい、また変った産業や町や村、神社仏閣などの見聞はそれ自体大きな意味がある。文化遺産というものは、われわれの祖先の残した偉大な宝であり、われわれの日常生活も実はこの遺産の継承である。これを頭から古くさいとしてしまうことは全くナンセンスというほかはない。修学旅行はこれらをナマで勉強する絶好の機会である。

また、キャンプ生活、登山に切り替えるべしという意見もある。まことに近代的で、活動的で結構である。もろもろの危険について万全の注意を払い、大いに実施すべきものである。

日本の産業の進展は世界の驚異となっている。これを見学させようという主張も多いが、青少年に実際に肌で産業の実態に触れさせること、もとより賛成である。できることならこれらを別々にして目的別の修学旅行を実施したいのであるが、今日の日本の経済事情からとてもできない相談である。

そこで文化遺産見学と、産業見学なり登山、キャンプ生活なりを同時に実施することがよいとおもう。交通事情が改善された現在、これは十分に可能である。

最後に計画やその実施に当っては、生徒の自発的活動にまかす傾向が強いが、これはまことに結構なことで、新しい時代にはまさにそのようでなければならないとおもう。これにともなう危険防止、指導責任などに関する問題は重要であるが、別の機会にゆずることにする。（財団法人・全修協教育研修部長）

具体化後に検討

都の修旅基準

東京都内公立中学校では修学旅行に万国博見学を取り入れる場合、現行の修旅基準の枠を緩和してほしいとの意向を持っているが、都教委ではこの特例を認めるかどうか、いまのところ白紙の状態である。中学校の基準は七十二時間以内となっており、万国博見学を加えると時間不足になるというのが学校側の主張。しかし同教委としては万国博の構想、入場料などがまだ不明で、さらに輸送、宿舎の関係もあるので〝基準特例〟を認める段階ではないとしている。

また、学校側では万一〝現行通り〟という場合、宿泊地は京都と万国博会場の大阪にそれぞれ一泊し、奈良を割愛して調整する意向を持っている。

都教委斑目指導一課長の話　各方面から修学旅行と万国博についていろいろ話があるが、都としては今のところ〝基準緩和〟について何も考えていない。すべての計画がお決りになってから検討したい。

〝修旅の改善〟を

全日中でアンケート

全日本中学校長会（和田勝会長）では修旅改善に資するため〝ここを改めたい〟という意見を集めることになった。全国の中学校から無作為で三十校を選ぶほか、旅館バス会社、休憩所などからも忌憚のない声をきき、同会の機関誌「中学校」十一月号に特集として掲載する。

輸送計画など協議

関修委の運営委開く

関東地区中学校修学旅行委員会（本宮源一会長）では九月二十日全修協本部で第二十七回運営委員会（高橋儀六委員長）を開き、昭和四十三年度「わかくさ号」の輸送計画の打ち合わせと十一月中旬ごろ東京で開く修旅研究集会について協議した。

NHKラジオで放送

NHKは九月二十六日午後、全修協本部事務局で〝考え直したい修旅〟について録音取材した。山本種一全修協理事長は「修旅に教育的価値を求めることが必要であり、また修旅は人間関係を確立する重要な学校行事でもある」と冒頭し、修旅今後のありかたに対し意見を述べた。続いて山本調研部長は最近の修旅の動向について説明した。この録音は学校現場の声も入れて十月一日午前九時三十分からラジオ第二放送「教育界の話題」として放送した。

奥東北へ修旅研究

都内の先生らが参加

北奥羽三県（青森、秋田、岩手）観光連絡協議会では全修協などの後援で、ことしも九月二十五日から六日間、奥東北修学旅行研究会を開催した。東京都内の公私立中高の校長、教諭約三十名が参加、平泉、盛岡城跡、青森港、八郎潟干拓、秋田城跡、秋田八幡油田、青森りんごの栽培状態や秋田県立公園男鹿半島と十和田八幡平、陸中海岸両国立公園など修学旅行地としての調査研究を行なった。なお全修協からは浅沼教育研修部長が参加した。

東京をきれいに……

10月5日から美化運動

東京をきれいにしよう――と東京都ではことしも十月五日から同十一日までを美化週間として活発な運動を展開することになり、九月十一日午後、上野の東京文化会館に担当の都広報室と全修協はじめ協力の四十六団体が集まって運動方針を検討した。全修協の早川広報部長は「近県からバスによる修旅が多くなったが、なかには車内にクズ箱のないものもある。首都美化のためにも首都圏内のバス会社を指導してほしい」と要望した。

100万人の修学旅行コース　★　★　★　★
科学技術館
修学旅行の教育的意義を高めるためにも、ぜひ科学技術館をコースにおいれください。
● 冷暖房・団体休憩室（400名）・食堂（300名）完備
● 無料大駐車場（大型バス50台）
お問合せ…東京都千代田区北の丸公園　科学技術館業務部　TEL東京（03）212－8471（代表）
★地下鉄（東西線）：竹橋下車　★日本武道館となり

修学旅行のことなら
ツーリストまかせで安心です
修学旅行専門のスタッフをそろえて、学習効果のあがる、安全な旅行の研究を重ねている**近畿日本ツーリスト**…修学旅行の事前指導、コースづくり、乗りもの・お泊まりの予約手配、旅行中のおせわなど、めんどうなことはなんでもおひきうけします。お近くのひまわり窓口を、お気軽にご利用ください。
● 週末旅行に 便利でおトクな周遊券
電子計算機がおてつだいする　ひまわり窓口
近畿日本ツーリスト

修旅の補助金要求　文部省

五千二百五十円に（中学生）

小学生は五百四十円増

文部省の昭和四十三年度概算要求は七千七百十三億円で、このうち要保護及び準要保護児童生徒援助補助金は六十五億七千九百三十三万八千円で、本年度予算より十四億七千六十九万八千円の増。

このうち修旅関係は六億三千百七十三万七千円で本年度より一億九千六百四十万二千円増えている。中学生は五千二百五十円（現行三千四百七十三円）小学生は一千九百八十円（現行一千四百四十円）となっている。

この要求額は中学生十六万七千九百七人、小学生十五万五千百三十八人のほか産炭地域特別措置一千三百五十万四千円、僻地学校分二千三百八十九万円が含まれている。同省初中局財務課では「二年間据え置きのままだったので来年度はぜひ全額獲得したい。しかもことしから来年にかけての全国的な交通費値上り（全国平均約二五％）も含まれていないのでこの額は最低のものだ。ほかに新規事業がないので、来年度は内容の充実を期すべきだと思う」といっている。

研旅の反省会

全修協支部で開く

【静岡発】全修協静岡県支部（木村愛一支部長）では本年度研修旅行の反省会を八月二十六日県教育会館で開いた。研旅参加者約四十名と県教職員互助組合事務長菅原孝氏、本部から山本総務が出席した。おもな意見は①本部旅館以外の旅館も早く知りたい②旅館での洗濯物の干場を考慮してほしい、など。コース別では①北海道の原生花園では自由時間が必要②山陰の玉造では民謡踊りが見たい。また、写真コンクール作品展を県内で開催してほしいとの声もあった。

【新潟発】新潟県支部（小川喜代治支部長）でも九月六日厚生財団会議室で本年度研修旅行の反省会を開いた。参加者のほか小川支部長、西沢厚生財団専務理事、小島安、小島茂作両常務理事、実施機関の近畿日本ツーリスト新潟営業所員、本部から白滝事務局長が出席した。研旅の希望として①実施期日の早期決定②東北コースも加えたい、などの要望があった。また、沖縄コースは現地のツーリスト職員が親切に案内してくれたと、なかなかの好評だった。

思い出を綴る　研修旅行の作品

山と湖の旅

岡野英雄

ここは名高い鬼押出し
浅間山の噴火にて
流れ出でたる熔岩の
怪石、奇石の大奇観

○

明くれば空はよく晴れて
上信スカイラインを走る
万山望より西遠く
北アルプスの雪深望む

○

二百米の断崖で
黒部の峡谷せきとめて
出来た黒部湖広々と
黒四ダムの大壮観

○

空に聳える乗鞍の
天地を圧するその威容
お花畑や大雪渓
これぞ天下の大景観

○

安房峠より上高地
清流みなぎる梓川
河童橋を前景に
眺むる穂高のすばらしさ

○

旅の楽しさ語るうち
東京駅に無事着いた
互いに名残を惜んで別る
ほんとによかった研修旅行

（黒四乗鞍コース参加・神奈川県横浜市）

風の紋

本郷淳

はるかな国から
風がそっと刻んでいった限りない紋様、
あなたのうなじの
おくれ毛のように、一筋、二筋。
だが、その風の紋は音もなく消え去っていく。
遠い日の　はるかな思い出のように―。
砂浜は、もう秋の風…。

（山陰コース参加・東京都小金井市）

小豆島へ

宮坂延次

小豆島に渡った。小豆というから小さい一握りくらいの島かと思って行ったらどんでもない、大きい見通しもつかない島で、先ずびっくりした。

南欧のオリーブが植えついたという島、山あり渓ありの風景の勝れた島であった。この島は例の壺井栄さんの「二十四の瞳」で有名になり、映画でさらに全国的に名勝になった島である。

「美しのはら高原」の展望、寒霞渓（かんかけい）をロープウェイで登って、下ってみたが、実に天下の絶景であった。ただ紅葉の時でなかったので、カラーに欠けていたのが残念であった。土ノ庄港から出航したが、バスのうら若い車掌たちが桟橋まで見送りに来て、別れを惜んでくれた。五色のテープが「蛍の光」の曲につれて次第に海に切れ落ちるとともに、四国の島々に別れを告げたのである。

（四国コース参加・東京都練馬区）

万葉史蹟めぐり　(9)

はかない乙女の生涯

堀田勇

真間手児奈

万葉集には、一人の女性が、幾人もの男性に求婚されてなやんだ末、遂に自ら命を絶つという、いわゆる妻争い伝説の作品も何首か集録している。いずれも絶世の麗人で、内容も、純情哀話の形で物語的に巧妙に構成されている。

○…

真間の手児奈伝説もその一つで、物語というのは、下総の国（千葉県）真間の里（市川市真間）に住んでいた手児奈が、多くの男性に求婚されるのを苦にして、近くの入江に身を投じて死んだというのである。

高名な伝説だったとみえて、万葉歌人の中でも特にすぐれていた山部赤人や高橋虫麻呂も、旅の途次、その墓に詣で遺跡を訪ね、手児奈追慕の作品を残している。

○…

高橋虫麻呂の作品によると、真間の手児奈は、粗服をつけ髪もくしけずらず、はだしで歩きまわっているような女性であったが、綾錦を着て多くの女性達にかしづかれている娘もとても及ばない美しさで、「望月の満（た）れる面わに花のごとえみて立てれば、夏虫の火に入るがごと、港入に船漕ぐごとく」人々が寄って来るほどの、天成の麗人であった。

葛飾の真間の手児奈がありしかば真間のおすひに波もとどろに（東歌）

葛飾の真間の手児奈をまことかも吾に寄すとふ真間の手児奈を（東歌）

足の音せず行かむ駒もが葛飾の真間の継橋やまずかよはむ（東歌）

などは、いずれも、手児奈への男性達の思慕のさまをいろんな形でとらえた、民衆の作品群である。

山部赤人、高橋虫麻呂が真間の手児奈をうたった作品（長歌の反歌）の中には次のようなものがある。

吾も見つ人にも告げむ葛飾の真間の手児奈が奥つきどころ（山部赤人）

勝鹿の真間の井見れば立ちならし水汲ましけむ手児奈し思ほゆ（高橋虫麻呂）

「吾も見つ人にも告げむ」には讃美の声があり、「水汲ましけむ手児奈し思ほゆ」には追慕の情がこもっている。

伝説の佳人に寄せる両著名歌人の、しみじみとした愛情がうかがえる作品である。

○…

手児奈の純情と薄命な生涯とをいたんだ後の人は、その墓所に手児奈霊堂を建て、彼女を仏としてまつった。今日では手児奈は、子育安産の守り仏として婦人達の信仰を集めている。

考えてみれば、入水自殺をした求婚の女性が、このような形で庶民の信仰を集めているのも奇しき因縁といえよう。

○…

手児奈が、いつも水を汲んでいたという「真間の井」の伝承井も、手児奈霊堂の近くの亀井院の庭にある。どこにでも見かける小さな共同井戸であるが、「真間の井」と書いたうすれかかった文字の立札を見ていると遠い昔の伝説哀話の悲愁が湧いてくるのも不思議である。

井戸の背後が、真間丘陵の切りたった崖になっているから、かつてここに湧いていた清泉に付会して、こうした伝承がうまれたのではなかろうか。

手児奈霊堂の表参道を出て、しばらく市川の町中にむかって行くと、古の「継橋」として伝えられている小さな橋もある。

（随筆家・写真も）＝写真は真間の井

修学旅行は日本最初の高速専用豪華バスで

★最高のサービス
時速100キロ・冷暖房完備
リクライニングシート・ガイド付
★最低の運賃
名古屋～神戸（学生750円）
名古屋～京都（〃540円）
名古屋～新大阪（〃670円）
ご予約により360名様位まで同時輸送可能

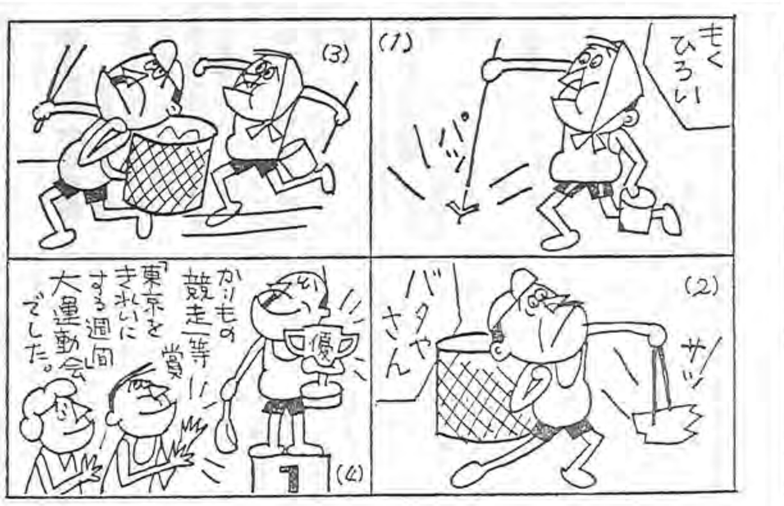
（のりば）
名古屋　駅前名鉄バスセンター4階
京都　京都駅西口
新大阪　新大阪駅1階正面
神戸　神戸駅南口

名神ハイウエイ
日本高速バス
TEL 大阪 771―6637
名古屋 521―8371

東京をきれいにする運動

〈10月5日～同11日〉

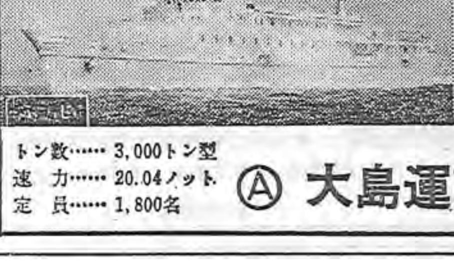
主唱　東京都／協力（財）全国修学旅行研究協会



修学旅行の学習効果向上のために

全船冷暖房完備の修学旅行専用船
わかば丸・ふたば丸
旅客定員805名・1,100トン
●一般客との混乗がありません
●船内での学習や研究ができます
●海・船の社会科研究もできます
楽しい有意義な瀬戸内海の修学旅行を！
関西汽船
●お問合せは…大阪（441）9161
ほか関西汽船各地営業所・各旅行斡旋案内所

修学旅行は
日本最大の豪華観光船「ふじ」で



団体専用船「ふじ」が昭和40年8月に就航しました。科学の粋を集めた画期的な最新鋭船です。生徒達の心にいつまでも残るユニークな修学旅行をお約束します。
みなさまのスケジュールにあわせて全国各地のどの港へもご案内できます。
完全冷暖房、明るい船室、豪華なサロン、ローンジ、広いプロムナードデッキ、娯楽室、浴室

トン数……3,000トン型
速力……20.04ノット
定員……1,800名

お問い合わせは
Ⓐ 大島運輸株式会社　東京支店
東京都中央区晴海町5の7
TEL （531）9211（代表）